

SEBASTIAN

WEIGLE NORIO

ロルツィング
歌劇「ロシア皇帝と船大工」序曲
LORTZING: "Zar und Zimmermann" Overture

モーツァルト
ピアノ協奏曲第21番 ハ長調 K.467
MOZART: Piano Concerto No. 21 in C major, K. 467

ブラームス
交響曲第4番 ホ短調 作品98
BRAHMS: Symphony No. 4 in E minor, op.98

フランクフルト歌劇場の音楽総監督を務め
世界の聴衆を魅了するドイツの名匠

読響第10代常任指揮者
セバスティアン・ヴァイグレ
The Tenth Principal Conductor
SEBASTIAN WEIGLE

新たな音の息吹を感じて

MOZART & BRAHMS

モーツァルト&ブラームス〈ドイツ音楽名曲選〉

読売日本交響楽団 第217回 土曜マチネーシリーズ

2019 **5/18**(土) 14:00

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥4,000

Saturday Matinée Series No. 217
Sat. 18th May 2019, 14:00

読売日本交響楽団 第217回 日曜マチネーシリーズ

2019 **5/19**(日) 14:00

S ¥7,500 A ¥5,500 B ¥4,500 C ¥4,000

Sunday Matinée Series, No. 217
Sun. 19th May 2019, 14:00

東京芸術劇場コンサートホール

Tokyo Metropolitan Theatre

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時-18時・年中無休)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場(公益財団法人 東京都歴史文化財団)

読 響
Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra



エリザベート王妃国際コンクールで注目を浴び
機知に富んだ感性で音楽の神髄に迫る新星

岡田 奏 ピアノ KANA OKADA, Piano

©Kazashito Nakamura

©読響

名匠ヴァイグレの《ドイツ音楽名曲選》 モーツァルト&ブラームス、二つの傑作を聴く！

読響の新常任指揮者、ドイツの名匠セバスティアン・ヴァイグレが、モーツァルトやブラームスなど得意のドイツ・オーストリア系のプログラムを振り、読響の新時代の到来を告げる。

1曲目にロルツィングの歌劇「ロシア皇帝と船大工」序曲を披露し、華やかに開幕。ロルツィングは、ベルリン生まれの初期ドイツ・ロマン派の作曲家で、ワーグナーに影響を与えたことでも知られている。彼の代表作とされるこの歌劇の序曲は、リリカルに朗々と歌われる旋律とドラマティックな響きが特徴的。オペラを日常的に親しむドイツの劇場文化の香りが漂い、“オペラ指揮者”としてのヴァイグレの血が騒ぐ。

続くモーツァルトのピアノ協奏曲第21番は、モーツァルトのピアノ協奏曲の中でも特に人気の高い曲。思わず口ずさみたくなる旋律にあふれている。シンフォニックな曲想からピアノと管弦楽の対話が

心地よい第1楽章に始まり、極めて魅惑的なメロディで聴き手を惹きつける第2楽章を経て、一点の曇りもなく明るく楽しい第3楽章へと続く。この名曲で独奏を務めるのは、フランスを拠点に国際的に活躍する岡田奏。思い切りのよい自由奔放さと欧州で体得した様式美を両立させている期待の新星ピアニストだ。ヴァイグレのリードにより岡田は想像力豊かな楽想で、瑞々しい歌を聴かせるだろう。

後半には、ブラームスが遺した最後の交響曲、第4番を演奏する。溜息のように始まる冒頭に表されているように、晩年へと差し掛かったブラームスが、憂愁の想いや内に秘めた感情を曲に綴っている。また、人生の素晴らしさをしみじみと語るような第2楽章も印象深い。最終楽章は、古典的な変奏曲形式(シャコンヌ)を用いており、交響曲というジャンルにおける孤高の美しさを持っている。ヴァイグレは、読響の分厚い弦楽器から、豊潤で深く、力強く繊細な響きを引き出すだろう。進化した“読響サウンド”から、新たな時代の息吹を感じていただきたい。

岡田 奏 ピアノ
KANA OKADA Piano

瑞々しい感性と多彩な表現力で聴衆を魅了する新星ピアニスト。函館市生まれ。8歳でリサイタル・デビュー。15歳で渡仏し、パリ国立高等音楽院の修士課程を最優秀で修了。アーティスト・ディプロマ科を経て、欧州をはじめ国際的に日本で活動している。2013年にブーランク国際コンクールと仏ポントワーズのピアノ・キャンパス国際コンクールで優勝。16年エリザベート王妃国際音楽コンクールのファイナリスト。オルソップ、ボスカ、尾高忠明、小林研一郎らの指揮でベルギー国立管、シモン・ボリバル響、東響、京響、札幌などと共演。サントンジュ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ TOKYO、パリのショパン・フェスティバル、アムシー音楽祭などに出演。18年、デビュー CD をリリースし、好評を得ている。今回、読響に初登場。

セバスティアン・ヴァイグレ 指揮
SEBASTIAN WEIGLE Conductor

2019年4月から読響第10代常任指揮者を務めるドイツの名匠。ベルリン生まれ。1982年からベルリン国立歌劇場管の首席ホルン奏者として活躍後、指揮者に転身。2003年にフランクフルト歌劇場でR.シュトラウス《影のない女》を振り、雑誌『オーパ・ヴェルト』の「年間最優秀指揮者」に選ばれた。04年から09年までバルセロナのリセウ大劇場の音楽総監督を務め、08年からフランクフルト歌劇場音楽総監督の任にある。同歌劇場は『オーパ・ヴェルト』の「年間最優秀オーケストラ」や「年間最優秀歌劇場」に輝くなど、その手腕は高く評価されている。バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ベルリン放送響、ウィーン響などで活躍している。

読売日本交響楽団 第217回 土曜マチネーシリーズ

2019年 **5月18日(土)** 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

読売日本交響楽団 第217回 日曜マチネーシリーズ

2019年 **5月19日(日)** 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分
(※駅地下通路2b出口と直結しています)

託児サービス 東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時~17時) **学生券** 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時~18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296